第５５回札幌王座選手権野球大会実施要綱

１　大　　会　　名　札幌王座選手権野球大会
２　主　　催　　者　札幌軟式野球連合会
３　主　　　　管　毎日新聞社（毎日日曜倶楽部）
４　後　　　　援　日刊スポーツ野球クラブ
　　朝日クラブ理事会
　　北海道新聞社（札幌軟式野球連盟）
　　札幌市全区軟式野球連盟
　　札幌アカシア倶楽部

５　会　　　　期　**令和８年10月３日(土)～４日（日）**　［予備日　10月10日(土)・11日（日）］
６　会　　　　場　札幌市美香保公園Ｂ球場（10月第１週目の土曜日を開催日とする）
７　参　　加　　料　２１，０００円（加盟団体16,000円,**参加チーム5,000円**）
８　大会出場資格　①　札幌軟式野球連合会加盟各団体において優勝又はそれに準ずる成績により、各団体の推薦を受けたチーム。
②　選手登録名簿は各団体主催大会登録名簿のとおりとし、札幌王座決定戦大会での選手の補強は認めない。
③　試合中に不正選手が発覚した場合は、直ちに試合から除外し正規の選手が試合に出場する。この際、それまでの記録は正規の記録とし引き続き試合は継続される。試合終了後に発覚した場合は、すべて正規の記録として扱う。不正選手は本大会の次の試合には出場できない。
④　札幌王座選手権に参加するチームの選手登録は２つのチームにまたがって登録することはできない。
⑤　札幌軟式野球連盟「格付けＡチーム」に登録されている選手の本大会での選手登録はこれを認める。
⑥ 札幌軟式野球連盟「格付けＡチーム」の参加は、札幌軟式野球連合会において協議し参加の有無を決定する。
⑦　登録人数は、監督を含む１０名以上３０名以内とする。ただし、ベンチに入れる人数は２５名までとする。（オーダー表は大会本部が用意する）
⑧　各大会代表の選手名簿は別添書式に記入の上、速やかに大会事務局に提出して下さい。（提出先　毎日日曜倶楽部　門脇多美雄）
９　適　用　規　則　　２０２６年公認野球規則及びアマチュア内規による他札幌軟式野球連合会特別規則により運営する。規則適用に違反する事項が発覚した場合、直ちに各団体代表により協議する。
10　使　　用　　球　全日本軟式野球連盟公認球
11　開　　会　　式　**令和８年10月３日（土）12：30　【各大会の優勝旗を持参願います】**
（参加者）　①　第１試合の対戦チームは選手全員。
②　**上記以外の４チームは、監督・主将含む２名以上。（ユニフォーム着用）**

（式次第）　① 開会宣言
② 優勝旗返還　前年度優勝チーム　（札幌アカシア倶楽部）
③ 大会長挨拶　毎日新聞社　北海道支社
営業本部長　鈴木　勝一　様
④ 選手宣誓　カツウラ建機
主将　山川　深緑　選手（ヤマカワ　ミロク）
⑤ 閉式通告

12 閉　会　式　令和８年10月４日（日）（決勝戦終了後速やかに実施）
（式次第）　① 開式宣言
② 表彰式（表彰区分）
ア）優勝チーム　賞状　優勝旗　優勝杯　優勝楯　副賞
（イ）準優勝チーム　賞状　準優勝杯　準優勝楯　副賞
（ウ）個人賞　最高殊勲選手賞（優勝監督推薦）
闘賞　（準優勝監督推薦）
勝利監督賞
③ 大会長挨拶
④ 閉式通告

13 特 別 規 則 ① 試合は全試合７回戦とする。
７回を終了して同点の場合はタイブレーク方式により勝敗を決する。
タイブレーク方式は２回まで実施する。
これにおいても勝敗がつかない場合は、試合終了時点の出場選手９人によるジャンケンにおいて勝敗を決する。（ジャンケンは打撃順とする）
② タイブレーク方式（特別延長戦）
打者は継続打順とし、前回の最終打者を１塁走者,その前の打者を２塁走者とし、無死１，２塁の状態において行い得点の多いチームを勝者とする。
この際、選手の交代は通常の野球規則による。
③ コールドゲームを採用する。４回終了以降７点差とするただし、決勝戦においてはコールドゲームを適用しない。
④ 危険防止のため、捕手はプロテクター、レガース、ファールカップ、ヘルメットを着用する.
⑤ 雨天又は日没による正式試合は４回終了以降とする。
⑥ 大会はDH制を採用することができる。
⑦ 二人の打者を連続して申告敬遠を行う場合は、一人目の打者が一塁に達した後、二人目の申告を行う。

14 そ　の　他
① 雨天中止の決定及び大会実施の細部事項については、加盟各団体と協議し決定する。
② チーム内選手のタトゥーの扱い
（役員から監督へ注意し、身体から見えないようにさせること）
③ 試合中にベンチを出て喫煙をした選手は、その当該試合は退場「排除」処分となる　（美香保公園内は全面禁煙です）